

⑤そして就活成功！

私はどんどん自信をもってきたのですが、松田さんは、だんだん気力が落ちているようです。ある日、面接を受けたものの「落ちました」といきなり連絡がきました。

先生「受けたばかりでしょう」

松田「ひどいことばかり言われたんです。しかし、それが全部その通りなんです。」

先生「どんなひどいこと言われたの？」

松田「あなたは、人間として面白いけど、雇うとなると考えるよね。可能性は二割かなあ。とか、うちには試用期間が六カ月あって、まあ、入っても六カ月もたないと思うよとか。悔しいけど、たしかにそうですよね。私。そこからは質問攻めで、遅刻するタイプですか？ ギリギリに間に合うタイプです。みたいな、からかっているとしか思えないやりとりばかりでした。正直に答えていたら、たしかに雇うとなると私だって考えます……」

しかし、私の考えはちがいました。これだ。この会社は、松田のいいところを知っている。ここなら通ると思いました。落すつもりなら、大体そんなに長い時間面接なんかしません。

先生「私は、その面接は通ったと思います。面接官は3人といったけど、その中の誰かが強く推している。他の人は、疑問をもっているかもしれないけど、だからこそ、入ってから心配な点を聞いてるんです。大体、そんな失礼な質問は、普通の会社は落す学生にはしません。落ちた学生がSNSで『あの会社はひどい』と告発されると大変なので、採用側は極力言葉に気をつけています。あなたは通すと思っているから、そんなひどいことが言えるのです」

半信半疑の松田さんでしたが、思いの外早く、二次面接の連絡がきました。

「先生、先生の言う通りでした。通りました。なんでだろ。あんなにひどいことばかりいってたのに」

といいつつ、私はここを絶対落せないと最終面接の練習をトコトンやりました。

①最終面接ですが、最初にどんな質問がきても、まずこう話してみよう。

「前回の面接では、確率が二割といわれました。なのに、最終面接に呼んでいただきありがとうございます。ここに來れたということは、二割が五割くらいになったからでしょうか。あと三割か四割おまけしていただけたらうれしいです。」

②最後にこう言いましょう。

前回の面接で試用期間は六カ月。それまでにクビになることもあるといわれました。六カ月でクビになってもいいですから、私を雇ってください。

真面目な先生や就活指導者なら、こんな乱暴なアドバイスはしないと思います。私も、スーパーや銀行を受験する学生にこんなアドバイスはしません。しかし、コンテンツ系は現場に権限があり、しかも、新卒採用で落ちても、現場の編集長たちが、フリーでなら、むしろ、八方美人の学生より使えると判断して契約することもあります。とにかく、アニメにける情熱だけは絶対負けない彼女なら、そこまで言わせても平気だと思っていました。

そして最終日がきました。東京での面接です。彼女のアパートはJR岐阜駅から遠いため、寝坊を恐れて、前日は岐阜駅近くのホテルに泊まり、翌朝名古屋から新幹線に乗ってゆきます。

私は、その日、午前中会議をしていました。会議中なのに、スマホがブルブル振動します。みると松田さんからのLINEです。時間は11時半。面接は11時からですから、面接が終わったという報告かな、と無視していると、何度も何度も振動します。

仕方なくLINEをみると、

「せんせい！」

「せんせい、せんせい！」

「せんせい！せんせーい、せんせーい。電話していいですか？」

とただならぬ状況です。



まさか、道に迷って、たどりつけなかったんじゃないだろうな(極度の方向オンチです)、と思って会議を中座して電話すると、いきなり大声がしました「先生、受かりまし

た。採用です。夢見たいです。万歳」

興奮しきった松田さんが電話の向こうで叫んでいます。

私はまだ信じられず「だって面接終わったばかりでしょ。なんで内定がでたの？」

松田「先生にいわれた通り、最後に、試用期間でクビになってもかまいませんので、とにかく一度使ってみてください」とお願いしたんです。そうしたら、社長が立ち上がって「本当にいいんだな。試用期間でいいんだな。じゃあ、採用っていつてくれて...。」
オオッ、アニメ業界には、小器用な人間より、大器を雇ってくれる鷹揚な人物がまたいたのです。

私もうれしくて、大学中に松田さんが就活に成功したと言ってまわりました。

それから二日。松田さんは不安になってきたようで、あれって本当に内定だったんでしょうか。まだ内定通知がきません、と矢のような質問です。土日はどの会社も人事はお休み。今日明日には来るわけないよ、などとなだめますが、心配になり、会社に電話したらダメですか？などと言い募っていました。

さて、手のかかる学生でしたが、なんともユニークで面白い松田は、今、大好きなアニメ会社で、早稲田大学など錚々たる大学を出た同期たちと、仕事をしています。

とはいえ、他の同期は、すでに仕事をもっているのに、彼女に与えられた仕事は、PCに納められた未発表の新作アニメを見るだけ。ま、即戦力とは思われていないのですが、会社の育成方針がわかって、かえって安心です。

卒業式の日、すでに東京でアパートを借りていたため、欠席していた松田さんにメールをしました。ゼミの同期から卒業のお礼にと、特注の名前入りウィスキーグラスをプレゼントされたからです。それに、以外と簡単にゼミ生とは別れが来るもんだなあと新米教授としては寂しく思ったからでもあります。

松田さんから返事がきました。

松田です。

素敵なメールありがとうございます！

先生に寂しがっていただけて私はとても嬉しいです！

親以外でこんなにも深い付き合いをした大人は先生が初めてです。なので、離れるのが寂しいと大人に言われるのも初めてです。

アピさんや坪内や山本(友人たちです)にも、寂しいと言われました。私と離れるのが寂しいと言ってくれる友人も初めてです。

卒業式で毎度泣いてる子や先生も見て、毎回不思議でしたが、やっとその気持ちがわかったようなわからないような、気がします。

仲がいい人たちとなかなか会えなくなって、私ももちろん寂しいですが、他の人から寂しいと言われるのはこそばゆくて、いい気分です！！

これからも寂しいと言ってもらえるほど、仲良くなれる人たちに会えたらいいなと思ってます。

私にこんなにも関心を寄せて、時間を割いてもらったのも親以外では、先生が初めてです。

とてもうれしく、また、感謝もしています。

先生がいなかったら今頃どんな職についていたのだろうと思うと、ゾッとします。

遠隔面接の練習は本当に何度も何度も、うまく行かない時も何度も何度も、ありがとうございます。よく放り出されなかったなあと思います。あの練習のおかげで、大勢の前で話すのがすこーしだけ苦手じゃなくなったような気がしています。

先生のもとへ、無事カップがいて、安心しました。カップには私たちのゼミ一期生の爪痕を残さなくてはという使命感に駆られて、名前は絶対入れたいと、みさきさんに熱弁しました。

カップを日にすかしてみるといふ文、かっこよかったです。

どうか私たちのことを忘れないでください！

これからもたくさん電話をかけるし、困っていても、いなくても先生のことをたくさん頼りますので、どうぞ末長くよろしく願いいたします！！

そして、私なんかは何様かと思われるかもしれませんが、先生にはもっと他に頼る人がいるとは思いますが！それでも！先生が何か困ったことになったら、私も頑張って助けます！！さかもとの恩返しです。

(恥ずかしいので、絶対対面では、こんなこと言えません)

最後に親のような先生をまた心配させてしまうかもしれませんが、私は今迷子の最中です！

杉並の街は広いですね！！！！

もうここがどこだかわかりませんので、友人たちに助けてもらいます！ 文責:木俣

